

# プッチーニ作曲 歌劇「ジャンニ・スキッキ」

180318

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物			見どころ	
一幕 56分	1	遺言状に失望する	大富豪ブオーゾの寝室で彼が息を引き取ったところで親戚一同、大げさに悲しんでいるが、実は相続財産の行方の方が気かりである。みんなは、遺言状を探すが若いリヌッチョが遺言状を発見する。彼はそれを親類代表に渡す前に「この内容が皆にとって満足なものだったら、ぼくがラウレッタと結婚するの認めてくれるね」と問いかけ、皆は了承する。リヌッチョは親戚の子供に、ラウレッタとその父親ジャンニ・スキッキを呼びにやらせる。	18			リヌッチョ		
	2		皆が、遺言状を開封すると、噂のとおり、遺産は修道院に行くことになっていた。「坊主が肥え太りするなんて」と一同は落胆する。	10			リヌッチョ		
	3	ニセ遺言状の作成準備	スキッキは、リヌッチョから「何か知恵を貸して欲しい」と頼まれるが、他の親戚が貧しい田舎者のスキッキを馬鹿にするので、いったんは協力を断る。しかし、娘のラウレッタから、「お父さん、リヌッチョと結婚できないなら、ポンテ・ヴェッキオからアルノ川に身投げしてしまおう。」と脅されるので、スキッキも仕方なく遺産を取り戻すことに協力する。	6		スキッキ	リヌッチョ		
	4		スキッキは、娘のラウレッタには「ベランダで小鳥に餌でもやっつけていなさい」と言いつけて、部屋から立ち退かせる。いまこの部屋にいる面々以外にブオーゾの死を知る者がいないことを確認してから、遺体はベッドからどかして別室へ運ばせる。	4	ラウレッタ	スキッキ	リヌッチョ		
	5		スキッキは、往診に来た医者に、ブオーゾの声色で「もうすっかり回復したから」と言い追い帰す。ブオーゾが生きていたという証人が確保されたことで、スキッキは調子に乗って、「公証人を呼んできて、ブオーゾに化けた自分が遺言を口述する。」と、その計画を披露する。	25	5	スキッキ		医者	
	6		公証人が来るまでの間、親戚たちはスキッキの変装を手伝いながら、各自が有利な分与を頼み込む。スキッキは親戚達に「法律により、遺言状の改竄者とその共謀者は片手を切断された後フィレンツェ追放となる。だから『さらばフィレンツェ、手のない腕でご挨拶』となりたくないならこの事は一切他言無用。」と警告し、一同も約束する。	10	10	スキッキ			
	7	スキッキの名演技	スキッキは、公証人に見られないようにカーテンを降ろして暗くし、ベッドの中から「新たな遺言状の作成は口述筆記に。」と言う。そして、「他の遺言状は無効」、「葬式は簡素に」、「修道院には小額の寄贈」、「現金等少額財産は親戚に均等に分与」等、親戚一同の希望通りに遺言を述べ、皆はスキッキの要領に感心する。そして、「ロバは、親友ジャンニ・スキッキへ」、「フィレンツェの家は、ジャンニ・スキッキへ」。親戚一同騒然となるが、スキッキは「さらばフィレンツェ」と歌い先ほどの警告を思い出させ、皆を沈黙させる。最後に「製粉所は、ジャンニ・スキッキへ」。遺言状が完成すると、スキッキは公証人に報酬を渡し、帰らせる。	10	10	スキッキ		公証人	
	8		スキッキは、親戚一同から「泥棒、裏切者」と口々に罵られるが、「俺の家だ、みんな出て行け」と全員を追い出す。独り残ったスキッキがベランダに通じるドアを開けるとそこにはラウレッタとリヌッチョの2人。彼らは遺産騒動そっちのけで、眼下に広がるフィレンツェの景色を愛で、互いの愛を確認していたのだった。スキッキは、観客に向かって、紳士、淑女の皆様。「ブオーゾの遺産にこれより良い使い途があるでしょうか。この悪戯のおかげで私は地獄行きになりました。当然の報いです。でも皆さん、もし今晚を楽しくお過ごし頂けたのなら、あの偉大なダンテ先生のお許しを頂いた上で、私に情状酌量というわけにはいかないでしょうか。」と後口上を述べる。	13	3	ラウレッタ	スキッキ	リヌッチョ	

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。